

ゆうひ

平成7年度第5号

発行：社協雄飛ヶ丘支部
支部長 大山安太郎
発行日：平成8年1月20日(土)

今日の社協支部だより「ゆうひ」
・平成8年頭のごあいさつ
・高齢者福祉を囲む食事の会(寄稿)
・高齢者福祉について(寄稿)
・その他



新しい年を向えて

支部長 大山安太郎

雄飛ヶ丘地区の会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては斬新な気持ちにて新しい年をお向きになったこととご推察申し上げます。心よりお慶び申し上げます。

旧年中は社会福祉協議会雄飛ヶ丘支部に対しまして格別のご理解とご協力を賜りました。厚くお礼を申し上げる次第でございます。

さて、昨年を振り返ってみますと、皆様方のご協力をいただきまして、支部社協としましてはたいへん充実した支部活動ができました。

まず、三世代ふれあいインディアカ大会、雄飛ヶ丘地区の市民体育大会とも大盛況でありました。クロックゴルフ大会が雨天のため中止となったことが残念でありました。次に、奉仕活動としての年二回の市民清掃の日は地区会員各位の多数の参加により受け持ち区域がアツという間に美しい堤防になりました。これも地域の環境美化に対する皆様方の熱意の表れと思います。福祉活動と致しましては、寝たきりの方の介護のための地域介護講習会の開催、高齢者を囲む食事の会には八十才以上の方が六十有余名の下に盛大に行われました。年末には一人暮らしの方及び家庭にて療養をされている方に大して友愛訪問を行うとともに併せて支部社協の試みとして同時に慰問のお便りをお送りし有意義な社会福祉の輪を広げることができたものと思います。なお、福祉活動の一環としての屋外教育映画の上映も行い福祉の心を育てることに少なからず寄与できたものと考えています。

私感ではございますが、現代の社会は「自分さえ良ければ」という風潮がはびこっているように見受けられます。次代を受け継ぐ少年・少女にも自分本位が当たり前と考えられているのではないのでしょうか。物質的に豊かになったといわれる現代において、私たち人間にとって最も大切なことは、正しい心を持った人間に育むことではないでしょうか。誰もが他人を敬い、助け合い、奉仕の心で地域社会を築き福祉の輪の広がる地域社会であってほしいと願っております。

今年も雄飛ヶ丘地区の皆様方がふれ合える、そして福祉の輪が広がる思いやりのある支部社協活動を行っていきたくと考えております。ご意見やご指導がございましたら是非ともお寄せください。今回はお二人の

会員の方から寄稿いただきましたので本号に掲載させていただきます。

年の初めに際しまして、皆様方のご多幸とご活躍を祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。どうかよろしくお願い致します。

新年号の「ゆうひ」にお二人の方からご寄稿いただきましたのでご紹介させていただきます。



「高令者を囲む食事の会」



(匿名)

社会福祉協議会雄飛ヶ丘支部では、平成三年から年一回「高令者を囲む食事の会」を催してまいりました。雄飛ヶ丘公民館にて雄飛ヶ丘ボランティアの作る食事に舌鼓を打ったり、雄飛ヶ丘保育園の園児の楽器の演奏やお遊戯を見たり、園児の肩たたき等園児からのおみやげをいただき、楽しいひとときを過ごしました。

今年も雄飛ヶ丘支部では十月に催していただけたとのこと。お元気な方は是非参加していただきたいと思います。



「高齢者福祉を考える」



天木清彦

福祉について一文をというお話にとまどいながら、私の父が現役で活動していた頃、常に福祉の充実を叫び、そして最後にはその福祉のお世話になったことから、老人福祉についての思いを書いてみようと思えます。

老人福祉と言えば、昔は老人ホームがその施策の中心であり、暗いイメージがありました。その後、各地の自治体が衣料費補助や敬老祝金の支給といった制度を持つようになり、全国に広がっていきました。

そして今や、「老人福祉」から「高齢者福祉」と名称も変わり、ホームヘルパーの派遣をはじめ、デイサービス・ショートステイのような介護支援の施策があり、老人クラブや健康農園・シルバー人材センターなどの仲間づくりや生き甲斐対策、更に保健所が中心となった健康対策などその施策は多彩となり、国の制度としても大きな予算を持つようになってきました。

ホームヘルパーについて

厚生省では高齢者対策としてホームヘルパーを増員するための予算を数年前から大幅に増やしてきました。

しかし、各自治体でのホームヘルパーの増員はなかなか進まず、その理由は「利用者が少ない」というものでした。しかし熱心な自治体の職員は「増員すれば利用者は増える」と言って増員への努力を重ね、徐々にではありますがホームヘルパーも増えてまいりました。

しかし、この自治体当局と職員とのやりとりでも判るように、本来ホームヘルパーを必要とする住民の側にも問題があります。

「ホームヘルパーに来てもらっているのが近所に分かるとかっこ悪い。」「嫁がいて何で面倒みれんのかや。」といった気持ちが捨て切れないのです。その結果、寝たきり老人を抱えた家庭の主婦や配偶者に過大な負担を負わせる結果になり、そのことが原因で家庭内に問題を抱えている家も少なくありませんし、介護に当たって老人につらく当たるケースも出ています。ホームヘルパーの来ている間に買い物に出たり、ヘルパーと一緒にしゃべりしながら老人の体を清拭するなどすれば、負担も少なくなります。

一方、増えてきたホームヘルパー自身もそれぞれに悩みを持つようになってきました。ヘルパー自身の得手不得手といった特性や相手の老人毎の特性により、老人介護に当たった技術修得が必要なケースも増えてきています。介護技術の研修も行われていますが、自治体によっては増員した保健婦との連携を密にすることによって、寝たきり老人を少なくするなどの成果を挙げている熊本県蘇陽町のような例もあり、今後取るべき一つの方向性を示しているものではないでしょうか。

老人ホームについて

私が以前にお世話した家庭は夫が寝たきりで、老人ホームの入所を拒否し続けていました。この夫婦に、約一年間の説得の末、ようやく見学に行くという約束で連れて行った結果、特別養護老人ホームの入所に同意してくれました。

入所して一ヶ月後その老人から「何年ぶりかで夫を風呂へ入れてやれました。」という礼状をもらい嬉しかった想いがあります。

今では老人ホームも改築や新設など数も増え、明るいイメージになってきました。又、ショートステイやデイサービス等とも併設の形が多くなり、機能も充実してまいりました。

しかし、特別養護老人ホームはまだ数も不足し、入所まで何年も待たなければならぬ状態が続いています。また老人は必ず何らかの疾患を持っており、病院に長期入院しているケースが多くあります。こうした実態から医療と福祉のドッキングした施設が数多く必要

になっていくことを示しています。

老人保健福祉審付

本年一月五日の新聞は一斉に老人保健福祉審付なるものを掲載しました。これは日本弁護士連合会が、ホームヘルパーの配置や特別養護老人ホームの整備状況などを点検した高齢者介護サービスの実態調査を基に、先進的に高齢者対策に取り組んでいる市町村を相撲の審付にならってランク付けしたものだそうです。それによると県内では岐阜市が前頭七枚目となっております。

全国の模範となるべき東正横綱は「該当なし」だそうです。ホームヘルパーの配置に熱心だった長野市は小結、かつて全国的に名を馳せた医療福祉の岩手県沢内村は前頭十三枚目、児童福祉に力を入れていた大阪府は前頭十五枚目など、それぞれの福祉の分野で努力している自治体はやはり上位に入ってきています。しかし、高齢者に対する施策はそのほとんどが人間の力（マンパワー）を必要とし、人材や財源の確保について、今後国や自治体の努力が必要になってきます。平成9年度から「地域保健法」が施行され、「介護保険制度」の検討が始まり、今後の行方が注目される

当各務原市でも高齢者施策は熱心に行われ、充実してまいりましたが、更なる努力を願うものであります。



— お 願 い —

- 寒い時期は体が固くなり、いろいろな事故の原因となります。とくに、交通事故の防止にお努めください。
- 寒い時期は火気の使用が増えます。とくに、屋外でのたき火に注意してください。火災予防にお努めください。
- いつも戸締まりと火の後始末は忘れずに実行しましょう。（戸締まり用心、火の用心）

— 主 な 行 事 予 定 —

| 月 | 日 | 曜 | 行事と場所 |
|---|----|---|----------------------------|
| 2 | 4 | 日 | 公園清掃（雨天の場合順延） |
| | 17 | 日 | 公園清掃（子ども会） |
| 3 | 3 | 日 | 公園清掃（雨天の場合順延） |
| | 6 | 水 | 65才以上の一人暮らしの方を囲む会（雄飛ヶ丘公民館） |
| | 16 | 土 | 雄飛ヶ丘自治連合会引継ぎ（雄飛ヶ丘公民館） |
| | 20 | 日 | 公園清掃（子ども会） |

ゆうひ

平成7年度第6号

平成七年度雄飛ヶ丘支部社協をふりかえって
支部長 大山安太郎

年度末を迎え、雄飛ヶ丘支部社協の会員各位におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととご推察申し上げます。また、日頃より支部社協活動につきましては格別のご協力を賜り厚くお礼を申し上げる次第でございます。

平成七年度も残りわずかとなりました。この一年間を振り返ってみますと、雄飛ヶ丘地区の春祭りにはおせいの方に参加していただき盛大に行われました。次は社会問題となりましたテレクラについてはおせいの方の署名をいただき、その甲斐があつて県条例が制定され、平成八年一月一日より施行されたところで、皆様方のご協力ありがとうございました。また、体育行事につきましては、インディアカ大会や秋の市民運動会ともいわれます体育大会も盛大に挙行できました。

ボランティア活動と致しましては年間二回実施されました「市民清掃の日」には会員各位が多数参加され立派に活動ができたものと思います。秋の「高齢者を囲む会」、春に行われた「一人暮らしの方を囲む会」、どちらの会もおおせいの方のご出席をいただくとともに、雄飛ヶ丘保育園児やイロハ会、しぐれ会、あゆみ会のボランティアの方々たちによるすばらしい芸も披露していただき、参加された高齢者、一人暮らしの方々から好評をいただきました。また、年末には一人暮らしの方及び家庭において療養されています方々への友愛訪問をいたしますとともに慰問の便りも同時にお渡しできました。

平成七年度は前年度に続く猛暑、何十年ぶりといわれる高温多乾、さらに冬は十年ぶりといわれる寒さと大雪などの厳しい天候の年でもありました。会員各位の方々には住み良い福祉の町雄飛ヶ丘地区のために惜しみないご協力をくださいましてありがとうございます。残り僅かとなりました平成七年度ですが、来年度も今年同様に雄飛ヶ丘地区のためにご協力いただきますようお願いいたします。

この一年間のご協力に対して感謝を申し上げてごあいさつとさせていただきます。

「一人暮らしのご老人を囲む会」を開催

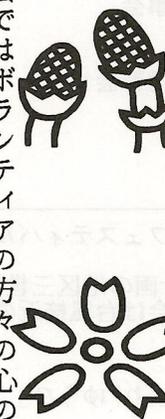
去る三月六日(水)、雄飛ヶ丘公民館において「一人暮らしのご老人を囲む会」を開催しました。

この会は昨年から満六十五才以上の一人暮らしのお年よりの方を対象に行いました。ボランティアの方々を含め百十名のおおせいの方々が参加されました。

市社会福祉協議会の方の準備された映画を一時間観

発行：社協雄飛ヶ丘支部
支部長 大山安太郎
発行日：平成八年三月三十日(土)

今日の社協支部だより「ゆうひ」
・年度末のごあいさつ
・一人暮らしのご老人を囲む会
・平成七年度会計報告
・その他



賞され、続く昼食会ではボランティアの方々心の心のもった手料理に舌鼓を打っておられました。また食事中には参加者相互の懇親もおおいに進みました。余興は歌、演奏、踊りと続き、第二部では歌、演奏、踊りのほか大正琴も演奏されました。イロハ会、しぐれ会、あゆみ会の方々のおかげを持ちまして参加者に大いに喜んでいただき、満足いただけたことと思えます。ありがとうございます。

一人暮らしの方々におかれましてはくれぐれもお体を大切にされ健康で長生きをしていただきたいと思います。

お手伝いいただきましたボランティアの方々や役員のみなさんに心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



わきあいあいと楽しいひとときを過ごしていただきました
(平成8年3月6日 「一人暮らしのご老人を囲む食事の会」)

自治連合会からのお知らせ

※今後の行事予定

- 4月13日(土) 雄飛ヶ丘地区春祭り
～14日(日)
- 7月7日(日) インディアカ大会
(市総合体育館)
- 7月21日(日) 市民清掃の日
(予備日28日)
- 9月15日(日) 体育行事(種目等は未定)

※交通事故の防止

春は交通事故も多くなります。交通安全に心掛けてください。

※地域安全指導員からのお願い

戸締まり、心の鍵をよくしめるとともに車のキーもよくしめてください。

平成7年度年間活動実績表

(雄飛ヶ丘支部)

| 月 | 日 | 活 動 内 容 | 月 | 日 | 活 動 内 容 |
|----|----|--|----|----|-----------------|
| H7 | 7 | 常任理事会 | | 6 | 常任理事会 |
| 4 | 23 | 支部社協役員総会 | 10 | 15 | 三世代地区体育大会 |
| | | 平成6年度活動実績及び決算 平成7年度活動計画及び予算 ※ 社協とは何か | | 19 | 高齢者を囲む会 |
| | | | | 19 | 福祉推進合同会議 |
| | 15 | 福祉推進合同会議 | | 13 | 市民清掃の日 参加 |
| 5 | 19 | 常任理事会 | 11 | 25 | 福祉大会 |
| | 25 | 支部だより「ゆうひ」1号 発行 | | 25 | 支部だより「ゆうひ」4号発行 |
| | 12 | 社協地域リーダー研修 (18名参加) | | 15 | 常任理事会 |
| 6 | 16 | 常任理事会 | 12 | 24 | 年末友愛訪問 |
| | 18 | インディアカ大会 | | | |
| | 23 | 市民清掃の日 参加 | H8 | 20 | 支部だより「ゆうひ」5号 発行 |
| 7 | 30 | 福祉野外映画 「ヘレンケラー物語」 | | 1 | |
| | 20 | 支部だより「ゆうひ」2号 発行 | | | |
| | 18 | 常任理事会 | | 16 | 福祉推進合同会議 |
| 8 | 24 | 介護者講習会 | 2 | 16 | 献立会議 |
| | | | | 23 | 常任理事会 |
| | 10 | 市福祉フェスティバル 参加 | | 6 | 独居老人を囲む会 |
| 9 | | 9/23 計画の地区三世代カッケー ゴルフ大会は台風接近のため中止 | 3 | 22 | 常任理事会 |
| | 15 | 支部だより「ゆうひ」3号 発行 | | | |

平成7年度支部社協収支決算書

(雄飛ヶ丘支部)

収入の部

| 科 | 目 | 予 算 額 (円) | 収 入 済 額 (円) | 備 考 |
|---|----------------|-----------|-------------|-------------|
| 1 | 交 付 金 | 237,000 | 242,000 | 支部会員の会費の40% |
| 2 | モジュール 支部交付金 | 0 | 0 | |
| 3 | メニュー-事業助成金 | 204,000 | 176,545 | 市社協指定事業助成金 |
| | 1) ゆうひ | 120,000 | 83,585 | 支部だより発行 |
| | 2) 高齢者を囲む会 | 42,000 | 45,000 | |
| | 3) 独り暮らし老人を囲む会 | 42,000 | 47,960 | |
| | 4) | | | |
| 4 | その他の助成金等 | 0 | 0 | |
| 5 | 繰 越 金 | 221,147 | 221,147 | 前年度繰越金 |
| 6 | 雑 収 入 | 1,000 | 195 | 預金利息 |
| 合 | 計 | 663,147 | 639,887 | |

支出の部

| 科 | 目 | 予 算 額 (円) | 支 出 済 額 (円) | 備 考 |
|---|-----------------|-----------|-------------|-----------------------|
| 1 | 事 務 費 | 12,500 | 8,554 | 葉書100枚 コピー代他 |
| 2 | 共通実施事業費 | 180,000 | 118,792 | |
| | 1) 福祉教育事業費 | 30,000 | 0 | |
| | 2) 友愛訪問事業費 | 120,000 | 92,700 | 年末友愛訪問(独97 観6) |
| | 3) 支部育成事業費 | 30,000 | 26,092 | 総会1 役員会6 献立会議2 講習会1 |
| 3 | メニュー-事業費 | 261,000 | 215,434 | |
| | 1) 高齢者・独居老人を囲む会 | 125,000 | 103,500 | 高齢者を囲む会1 独り暮らし老人を囲む会1 |
| | 2) 親子ふれあい映画会 | 16,000 | 15,000 | |
| | 3) 福祉座談会 | 0 | 0 | |
| | 4) 支部だより | 100,000 | 96,934 | 支部だより「ゆうひ」発行 6回 |
| | 5) 高齢者健康づくり教室 | 0 | 0 | |
| | 6) 会員募集事業 | 20,000 | 0 | |
| 4 | 歳末特別事業費 | 0 | 0 | |
| 5 | その他の事業費 | 140,000 | 90,000 | |
| | 1) 啓 発 事 業 | 30,000 | 0 | |
| | 2) ふれあい事業 | 40,000 | 40,000 | 三世代インディアカ大会共催 |
| | 3) 生きがいづくり事業 | 50,000 | 50,000 | 三世代体育大会共催 |
| | 4) 生活環境づくり事業 | 20,000 | 0 | |
| | 5) | | | |
| 6 | 予 備 費 | 69,647 | 5,000 | 慶弔金等 |
| 7 | 繰 越 金 | | 202,107 | 次年度繰越金 |
| 合 | 計 | 663,147 | 639,887 | |

※【次年度繰越金の算出】=(収入済額の合計)-(支出済額の内、7の繰越金を除く合計)